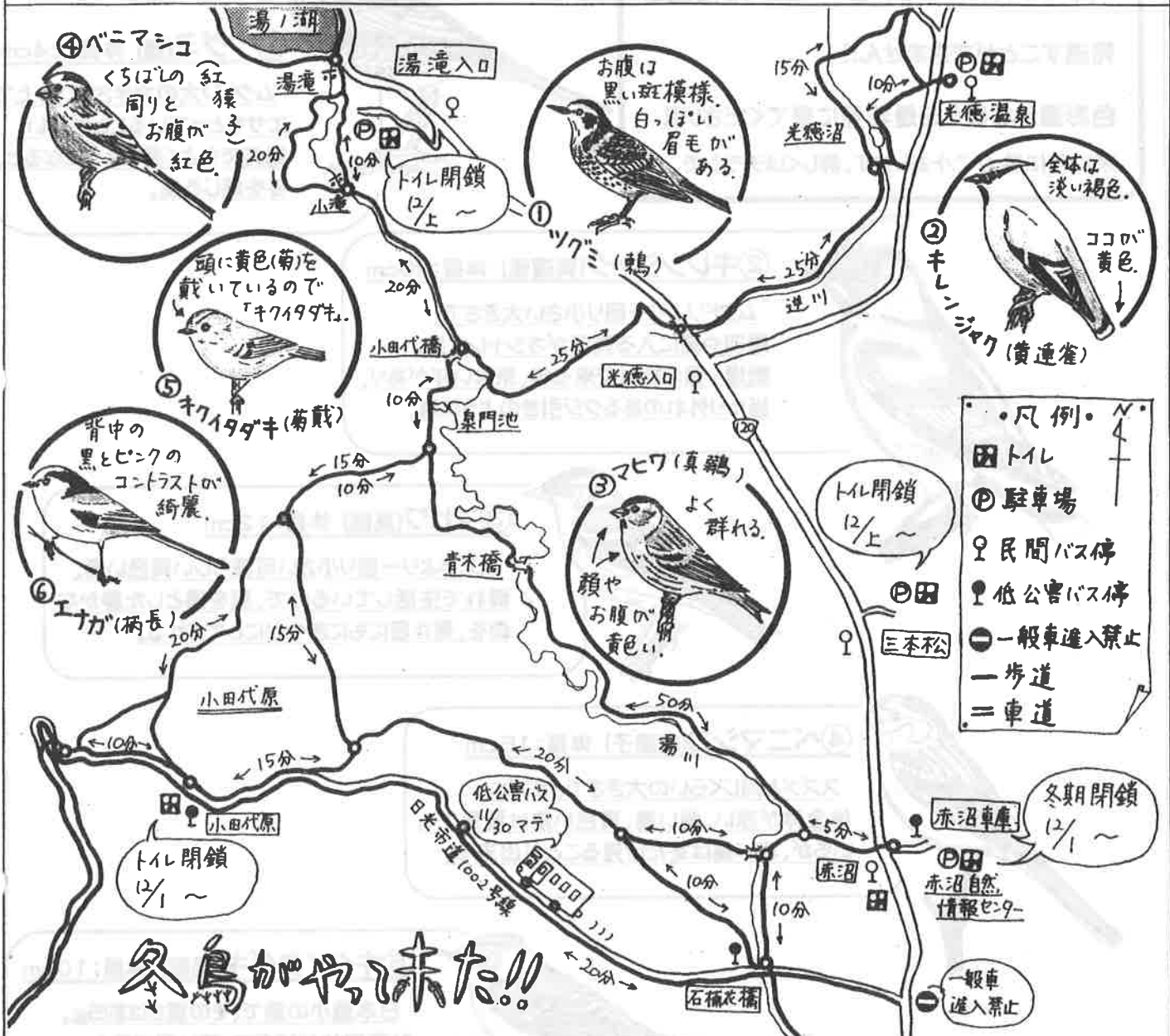


楓 通 信 . 7 1



冬鳥がや来た!!

目次

- 2, 3... 自然情報 4, 5... 歩道情報、交通情報 など 6, 7... イベントカレンダー
 8, 9... イベント報告、スタッフコラム 10... ニュース、クマ情報
 11... 環境省より、N.P.V. より 12... 日光の催し、お知らせ など etc. etc. ...

日光湯元ビジターセンター
 奥日光の情報誌 No.71

2007. 9. 29

年6回発行・一部100円
 年間購読料1000円(送料込)

年間購読のお申し込みは、氏名・住所・電話番号を明記の上、
 郵便振替にて自然公園財団宛に購読料をお支払いください。
 (年途中からでもどうぞ!) 振替 No. 00370-3-7232

NIKKO NATIONAL PARK

(財) 自然公園財団 日光支部

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

奥日光の冬鳥

紅葉もきれいですが、冬にやってくる鳥達も

見逃すことができません!!

色彩豊かな彼らを是非見に来てください!!

※12月に鳥イベントあります。詳しくはチラシで。



①ツグミ(鶇) 体長:24cm

ムクドリ大の大きさで、地上でエサをとっていることが多い。湯元でもよく見るようになると、冬を感じる鳥。



②キレンジャク(黄連雀) 体長:20cm

ムクドリより一回り小さい大きさで、尾羽や翼に入る黄色がオシャレな鳥。戦場ヶ原に群れて来る年、来ない年があり、当たり外れのあるクジ引きのような鳥。



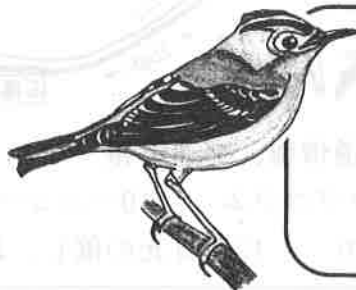
③マヒワ(真鵐) 体長:12cm

スズメより一回り小さい可愛い黄色い鳥。群れで生活しているので、葉を落とした静かな森を、見た目にもにぎやかにしてくれる。



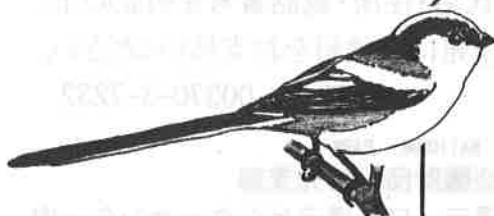
④ベニマシコ(紅猿子) 体長:15cm

スズメと同じくらいの大きさで、オスは体全体が赤い。青い鳥、黄色い鳥は夏鳥でもいるが、赤い鳥は冬だけ見ることが出来る。



⑤キクイタダキ(菊戴) 体長:10cm

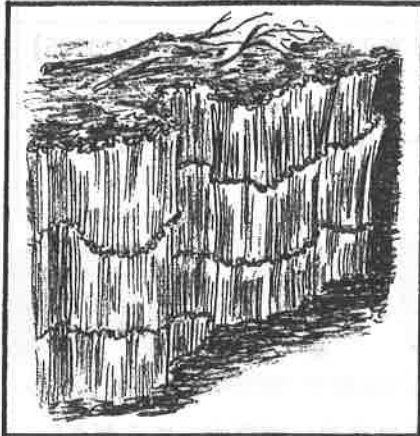
日本最小の鳥で、その重さは約5g。針葉樹林が好きで、細い声で鳴く。夢中になってエサを探しているときは、すごく近くで観察できることもある。



⑥エナガ(柄長) 体長:14cm

スズメより小さく、体に対して尾が長いのが特徴。大きさといい、背中の中のピンクといい女性ウケがよい鳥。正面から見ると、ハゲ頭のように見えるがそれさえも愛らしく思える鳥である。

霜柱の話



最 近は、見ること自体が少なくなったとも言われる霜柱。
奥日光では、これから雪が降るまでの間、湯川沿いや
光徳沼周辺などの水辺でよく見ることが出来ます。
踏むと、サクサクと音をたてながら崩れていきますが、
中には、ビクともしないものも。ほかに、左にある
イラストのように、階層構造になっているものも、よく
見かけます。

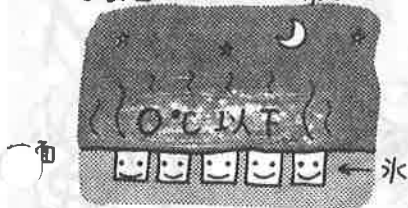
何故、こんな霜柱ができるのでしょうか？

七 ントは 気温にあります。

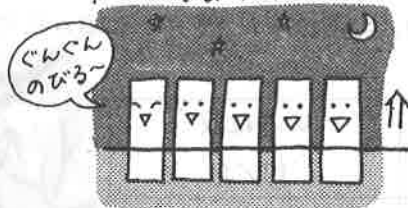
東京など、平地の多くの場所では、朝晩は冷えこんでいても、日中には気温が
上がります。そのため、できた霜柱は、大抵融けてしまいます。ところが、日中
気温の低い奥日光では、できた霜柱は少ししか融けません。融け残った霜柱の下に
新しい霜柱ができ、その結果、階層構造になるのです。

階層霜柱の作り方

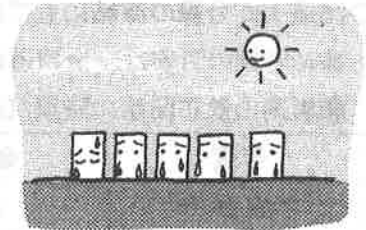
① 気温が0℃以下になると
地表面の水が凍る。



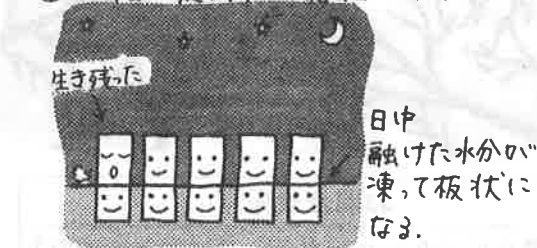
② 土(地面)をはき出しながら
氷が成長する。→これが霜柱!!



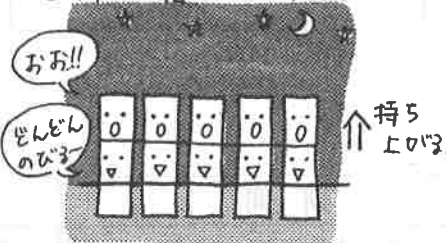
③ 日中 少しでも融ける。



④ 2日目の夜、新しい霜柱ができる。



⑤ 新しい霜柱が成長する。



①～⑤を繰り返ると
3階建て、4階建ての
霜柱ができます。

つまり、霜柱は
下の方が新しいのです!

■2006年の平均気温・湯元

	11月	12月
最高気温	9.6℃	3.1℃
最低気温	-0.1℃	-4.7℃

■2007年日の出入り(宇都宮)

	11/1	12/1
日の出	6:03	6:33
日の入	16:45	16:25

■天文情報

	11月	12月
新月	10日	10日
満月	24日	24日
11/18(日)	しし座流星群が極大	
12/15(土)	ふたご座流星群が極大	

※自然公園財団日光支部公園班の記録より ※国立天文台ホームページより

※昨年は暖冬でした。ちなみに、2005年の

12月の最高気温は-1.6℃、最低気温は-9.5℃。

※星空年間2007より

■歩道情報

！通行止めのお知らせ！

場所	状 況	お問合せ先
太郎山ハガタテコース	復旧の見通しはないようです。	日光市 観光課【0288-53-3795】
中禅寺湖周回歩道南岸 (千手ヶ浜～イタリア大使館先)	台風 9 号の影響で、倒木や歩道の破損があるため、現在通行止めです。	今市林務事務所【0288-21-1178】
弓張峠～西ノ湖		

■交通情報

道路の冬期閉鎖

※以下の日程は予定です。雪の状況によって、毎年変動があるので、期間の前後は事前に確認をしてください。

道 路	閉鎖期間	お問合せ先
中宮祠足尾線 (旧中禅寺湖スカイライン)	11/30 正午～4/中	栃木県日光土木事務所 【0288-53-1211】
金精道路	12/25～4/19	同 上
山王林道 (奥鬼怒林道)	12/15～4/28	栃木県日光治山事務所 【0288-54-0539】

各種交通機関の営業期間

交通機関	営業期間	お問合せ先
低公害バス	～11/30	日光自然博物館 【0288-55-0880】
日光白根山ロープウェイ	～11/ 4	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
中禅寺湖遊覧船	～11/30	船の駅中禅寺 【0288-55-0360】

◇国道 120 号線の凍結にもご注意ください。

凍結時期の目安は、金精道路が 11 月中旬、いろは坂が 12 月上旬頃からです。

融雪剤の散布開始の時期 (過去 3 年)

年度	金精道路	いろは坂
平成 16 年	11/16	12/1
平成 17 年	11/10	11/30
平成 18 年	11/15	12/29



■キャンプ場情報

キャンプ場	期 間	お問合せ先
湯元キャンプ場	～10/31 (水)	日光湯元ビジターセンター 【0288-62-2321】
菖蒲ヶ浜キャンプ場	～10/27 (土)	奥日光林産興業 (有) 【0288-55-0158】
菅沼キャンプ村	～10/21 (日)	菅沼キャンプ村東京案内所 【03-3542-8441】 現 地 【0278-58-2958】
丸沼オートキャンプ場	9/8～10/8 (土・日・祝のみ)	シャレー丸沼 【0278-58-4300】
光徳キャンプ場	既に営業を終了しています。	サンクリエイト 【028-656-6433】

■スキー場情報

※雪の状況により、オープン日に若干の変動があります。

スキー場	期間（予定）	お問合せ先
丸沼高原	11/10～ゴールデンウィーク明け	丸沼高原総合案内 【0278-58-2211】
光徳XC	12月下旬～3月雪がなくなるまで	日光アストリアホテル 【0288-55-0585】
日光湯元	12/21～3/31	東武興業 日光事務所 【0288-53-0901】 日光湯元ロッジ（シーズン中のみ）【0288-62-2532】
霧降高原	休業	—

■トイレ情報

奥日光では、冬の間、利用できないトイレがあります。（閉鎖期間は、雪の状況などによって変動します）

❖冬期閉鎖期間❖

トイレ	閉鎖期間（予定）
三本松	12/上～4/上
華嚴の滝駐車場	12/1～3/末
二荒山神社東側	
湯ノ湖畔	11/下～4/上
中宮祠足尾線	12/1～4/中
歌ヶ浜	12/上～3/31
西6番園地	12/1～3/31
イタリア大使館別荘 記念公園	12/1～3/31
赤沼情報センター横	12/1～4/25
小田代原	
千手ヶ浜	
明智平	12/上～3/31
湯滝	12/上～4/下

❖冬期でも開いているトイレ❖



■森のギャラリー ～展示会のお知らせ～

ビジターセンター併設の“森のギャラリー”では、春から夏にかけて、写真展などが盛況のうちに開催されました。今後の年間の予定は、現在のところ以下の通りです。これ以外の日程は空いておりますので、展示希望の方は、当センターまでお問合せ下さい。また、展示は期間中、自由にご覧いただけますので、どなたでもお気軽に遊びにいらして下さい！（開館時間：9:00～16:30）

	1日	5日	10日	15日	20日	25日	31日
10月		5(金)〈伏木孝写真展〉⇒14(日)		15(月)⇒〈和氣満男写真展〉⇒28(日)			
11月							
12～3月	(レンタルスキー、スノーシュー置き場となりますので、ギャラリーはお休みです。)						

日光湯元ビジターセンター

2007年11・12月の催し

集え！高山登山隊

紅葉時期の混雑から一段落。こんな時こそ、奥日光へいらしてみ
てはいかがでしょう。高山登山を通して、奥日光の魅力を再発見
してみませんか？

日 時：11月23日（金・祝）8:30～15:00

場 所：高山周辺

集 合：竜頭滝下駐車場

参加費：大人¥1,000 小・中学生¥500

人 数：15名（小学校4年生以上の健脚の方／先着順）

※高低差は約400m、距離は約8kmあります。



季節を感じる冬鳥観察

～願わくば、ワシが見たいです。～

奥日光の冬は非常に寒い…。しか～し!!そんな奥日光をアツク
する、冬の使者がやってくる季節でもあるのです!!

鳥たちに、アツイ期待をしてみませんか？

日 時：12月2日（日）9:00～12:00

場 所：菖蒲ヶ浜キャンプ場を予定

（エサとなるズミの実のつき方で、場所の変更あり）

集 合：菖蒲ヶ浜キャンプ場を予定

参加費：一律¥500

人 数：15名（小学生以上のノドウォッチャー／初心者／先着順）

命がうまれる森をみよう マスの採卵体験

冬のはじまりを迎える奥日光で、マスの採卵体験をしてみませんか？

11月はマスたちにとって、産卵の季節。魚やたくさんの生き物の棲む森の探検もします。森で命のつながりを感じてみよう！

日 時：11月17日（土）9:30～15:00（雨天決行）

場 所：さかなと森の観察園（菖蒲ヶ浜）、及びその周辺

集 合：さかなと森の観察園（菖蒲ヶ浜）

人 数：30名（小学生を含む家族／応募多数の場合は抽選になります）

参加費：大人¥500 小人¥300

締切り：11月3日（土）

主 催：（独）水産総合研究センター中央水産研究所日光庁舎

栃木県立日光自然博物館

全国内水面漁業共同組合連合会日光支所

環境省日光湯元ビジターセンター

※このイベントは、お申込み先や締切りが、他のイベントとは異なります。ご注意ください。

お申込み先：日光自然博物館

〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2480-1

FAX:0288-55-0850

URL:<http://www1.ocn.ne.jp/~nikko>

はがき・FAX・または日光自然博物館のホームページから、
以下の内容を記入してお申込みください。

（参加者全員のお名前・年齢・性別／代表者／住所・電話番号／
当日の交通手段）



開館日および開館時間

11月 :月～金 9:00～16:30

土曜・休前日 9:00～17:30

※休館日なし

12・1月 :土・日・祝日 9:30～16:30

※月～金 休館

年末・年始:12/29(土)～1/3(木)のみ開館

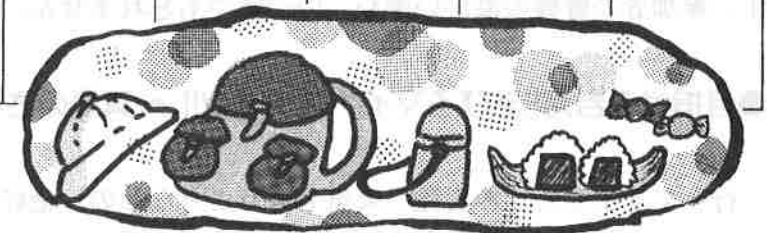
9:30～16:30

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17 マス 採卵体験
18	19	20	21	22	23 高山 登山隊	24
25	26	27	28	29	30	

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 冬鳥 観察会	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



※10/3（水）より受付開始です。

定員になり次第締切り。各催しとも、実施日の1週間前に受付終了。
その時点で最低催行人数5名に達しない場合は中止とさせていただきます。

申込締切り日以降でも、定員に達していない場合は受付けておりま
す。お問合せ下さい。

（財）自然公園財団 日光支部

環境省 日光湯元ビジターセンター

〒321-1662 栃木県日光市湯元

TEL 0288-62-2321 FAX 0288-62-2378

<http://www.bes.or.jp/nikko/vc/>

■イベント報告

●夏休み早朝散策

【参加者】7月21日 3名、28日 中止、
8月4日 1名、11日 16名、18日 21名、25日 8名

ミニガイドお盆特別編

【参加者】8月14日朝：35名 夕：11名、15日朝：21名 夕：7名、
16日朝：17名 夕：8名

●スライド&トーク

【参加者】7月24日 3名、26日 7名、31日 14名、
8月2日 6名、7日 20名、9日 30名、21日 10名、23日 23名

●小田代原・戦場ヶ原 よくばりハイク パートⅡ 7月29日(日) 参加者：11名

奥日光の名所、小田代原と戦場ヶ原を巡るというよくばりなこのイベント。今回は、先月行われた「よくばりハイク」の第二弾として開催されました。

当日のコースは、戦場ヶ原から小田代原を目指すというコース。7月末、この時期の小田代原・戦場ヶ原は様々な夏の花が咲き揃う場所です。昼食を摂る小田代原までの道では、ホザキシモツケやノアザミ、キリフネなどの花が見られ、参加者の皆さんの目を楽しませてくれました。

しかも、今回のイベントは植物だけでなく、コエゾゼミやコゲラの群れがすぐ近く見られるという特典付き！昼食を摂った小田代原では、真新しいクマ剥ぎの跡も発見しました。さすが、よくばりハイクです。

奥日光の自然を様々な形で満喫できた一日となったのではないのでしょうか。

●天空の大パノラマ 温泉ヶ岳(ゆせんがたけ) 7月31日(火) 参加者：14名

何故、こんな素晴らしい山を今までビジターセンターのイベントで登らなかったの？と思う程、いい山でした！温泉ヶ岳。国土地理院の地図にさえ「ゆせん」とルビがふってある、ちょっと変わった山。でも、湯元温泉の守護神でもある山。灯台下暗しとは、正にこの事。

当日のコース、金精峠から温泉ヶ岳、温泉平までは県境に沿って進むので、体半分は栃木県、体半分は群馬県という地点が何箇所か。県境というよりは「国境」という方が似つかわしい、下野国と上野国との国境。かつて、尾瀬沼の平野長蔵氏が、今市小学校に学ばせた長英さん・みや子さんに会いに通った国境の道。

温泉ヶ岳の山頂からは、その尾根の山々が手で捕まえられそうな間近に見えるのですが、残念、当日は、ずかし気に雲に隠れていました。

こんな大自然の雄大さを体感できる良いコースも、人の輪があつてこそ更に楽しいコースになったのです。参加者の皆様の温かい御心、いつまでも忘れません。ありがとうございました。

●目指せ赤岩滝!!浴びろマイナスイオン!! ~真夏のさわやかハイキング~

8月7日(火) 参加者：18名

行ってきました、赤岩滝!!天気も言うことなしの、絶好の滝見日和!!とても気持ちよく歩くことが出来ました。参加者の中には、赤岩滝に魅せられて何度も参加していただいている方もいらっしゃいました。もちろん、赤岩滝初体験の方も。参加者、スタッフともに、みんなで夏を堪能しました。

たとえば、沢渡り。ハラハラドキドキしながら慎重に。沢に素足をつけて水の冷たさも実感。切れそうなくらい冷たい水で、とても気持ちよかったあ〜。サンショウウオを捕まえたりもしました。このときはみんな必死。大人も子どもも夢中になって探しました。

そして、たどり着いた赤岩滝。この日も赤岩滝はダイナミックな姿を見せてくれました。やっぱり天然のクーラーは心も体もスッキリします。奥日光は今日も涼しいですよお〜。

自然の素材で楽しむ！ 森のあそび工房 ～石編～ 8月19日（日） 参加者：7名

涼しい奥日光といえども、夏の日差しが照りつける暑さの中、7名の参加者で実施しました。

このイベントは、どこにでもある、ありふれた自然の素材を使って楽しもうというもので、今回は石が素材です。まずは、石に興味をもってもらうために、記憶力を使ったゲームをしました。視覚で覚えるものと、触った感じを覚えるものの2種類です。どちらも、大人よりも子どもの方が得意ようです。感覚が鋭いのでしょうか？

次に川原へ行き、石で顔作り。こちらは子ども向けにと思っていましたが、実際は大人の方が楽しんでいました。豊かな表現力で、素晴らしい作品ができました。

この日は石を見る目が普段とは違い、たくさんの石の中から自分好みの石を見つけられる目になっています。気に入った石が見つかったら、ヘンプと革ひもで、その石をペンダントにします。世界にひとつしかない手作りのペンダントです。ヘンプを結ぶのは少し難しかったかな？でも、皆さん素敵なペンダントができました。

●源流紀行 ～真夏の切込刈込に涼を求めて～ 8月25日（土） 参加者：19名

日本列島が記録的な猛暑となったこの夏、ここ奥日光も今までにない暑さとなりました。当日は晴天にも恵まれ、足取りも軽く刈込湖へ。湖は例年より幾分水が少なめでしたが、静かに佇んだエメラルドグリーンの湖は、まさに“神秘の湖”の名にふさわしい姿で私たちを迎えてくれました。

対岸の湖畔でお昼をとった後、いよいよ刈込湖に流れ込む源流へ。歩くこと20分で沢が二股になった最初の源流に到着。一服したあと、今度は右手の源流を遡りました。そこには高さ7～8メートルほどの滝があり、汗まみれになった私たちに“マイナスイオンと涼しさ”をいっぱい注いでくれました。

この滝は地図にも記載されておらず、もちろん名前もない滝です。源流はさらに奥まで続くのですが、今回はここまでとし、帰路につきました。道がほとんど消えてしまったドビン沢は足元が悪く皆悪戦苦闘、それでも途中で一面のキオンのお花畑に出会い、疲れも吹っ飛んでしまいました。最後は背丈以上もあるササの藪漕ぎをして全員無事小峠へ到着、一路ビジターセンターへ。今回のイベントは、水の涼しさと足元のヒヤヒヤを体験した夏の日でした。参加された皆様、ほんとうにお疲れ様でした。



■スタッフコラム

このコーナーは、毎号違うスタッフが思い思いに書いていきます。今回の担当は、森 秀夫。

【林間独坐～うれしいクレーム～】

小さな黄色いダリアのようなオオハンゴンソウ（大反魂草）は、その名のとおりご先祖様の魂が帰るお盆の頃に咲く。原産地・北アメリカの気候とここ日光の気候がよほど似ているのか、この花は馬返しや中禅寺湖畔、湯元温泉などに群生していて、毎年8月になると一面黄色のお花畑となるので、多分ご覧になられた方もいらっしゃるだろう。このオオハンゴンソウの除去作戦を、今年も湯元温泉のスキー場で300名近くの参加者を得て行った。

除去作戦が終わって、一ヶ月ほど経ったある日、ビジターセンターのカウンターに1人の女性がすごい剣幕で訪れた。驚いて対応に出た職員によると、その女性は前述のオオハンゴンソウ除去作戦に参加するつもりでいたのだが、新聞に募集記事が載らなかったため参加できなかったという理由のようだった。記事は、除去作戦が行われた翌日に写真入りで地元紙に掲載され、女性はその記事をご覧になって来館されたのであった。

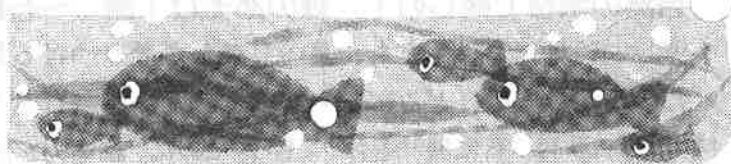
この話を後で聞いて、私はその方には大変申し訳なく思うとともに、もう一方では“最近の”市民の社会貢献や環境保護に対する意識の高まりがここまで来たか”と内心ほくそ笑んだ。ビジターセンターにいと、「ゴミが散らばっている」、「トイレが汚い」、「犬がうるさい」等々いろいろなクレームを頂くが、今回のようなクレームなら大歓迎である。

■ニュース

《こんなことがあります》

【命がうまれる森をみよう マスの採卵体験】

冬のはじまりを迎える奥日光で、マスの採卵体験をしてみませんか？11月はマスたちにとって、産卵の季節。魚やたくさんの生き物の棲む森の探検もします。森で命のつながりを感じてみよう！（詳細は、P.6～7 イベントカレンダーのページをご覧ください。）



《こんなことがありました》

【オオハンゴンソウ除去作戦】

今年も300名ほどのボランティアの参加のもと、お盆休み前の8月11日に湯元スキー場において除去作戦が行われました。猛暑の中お昼までの作業でしたが、努力の甲斐あって3トンのオオハンゴンソウを除去することができました。今年は、東京から30名ほどの参加もあり大きく盛り上がりました。

オオハンゴンソウは、まだまだたくさんあり、来年も行う予定のようです。

【大学生の国立公園インターンシップ】

自然公園財団では8月1日から9月11日まで、江戸川大学と新潟大学のインターンシップ生12名を受け入れました。実習は1回10日から2週間の期間で、職員と一緒にトイレ清掃やシカ柵パトロール、オオハンゴンソウ除去、台風被害倒木除去など国立公園の管理業務を体験していただきました。

【奥日光で クマによる初の人的被害】

8月23日10:15頃、三本松駐車場奥の林道にて男性がクマに襲われ、左手と右腕に軽症を負い病院に運ばれました。これまで奥日光では、クマの目撃情報は多数ありましたが、人的被害は初めてのことです。

今回の事故は、人通りの少ない林道でおき、被害にあった男性は、鈴など音の出るものを携帯していなかったということです。

奥日光は、元々クマの生息地です。クマの方が先住者なのです。クマに限ったことではありません。様々な野生動物と隣り合わせている場所という認識を持って欲しいと思います。

■クマ情報

今年も、あちこちにクマが出没しています。今年は、奥日光では初めて、クマによる人的被害が出ました。歩く際は、音の出るものを持つなどして、ご注意ください。

また、クマを見かけた方は、日光湯元ビジターセンターまでお知らせください。

【目撃情報】2007年7月21日～9月22日

期間	件数	出沒場所
7/21～31	1件	・戦場ヶ原内（多） ・市道1002号線石楠花橋付近
8/1～31	12件	・小田代歩道 ・小田代原付近 ・西ノ湖付近
9/1～22	0件	・裏男体 志津小屋付近 ・三本松～光徳間

※右の地図の●はクマが目撃された場所です。



■環境省より

【台風9号における戦場ヶ原自然研究路の被害について】

9月6日から7日にかけて通過した台風9号の影響で、奥日光に土砂崩れや木が倒れる等、様々な被害が発生しました。今回の台風は雨量が非常に多かったことから、戦場ヶ原にも大量の水が流れ込み、歩道の破損や土砂の流入等が起きました。

特に戦場ヶ原の自然研究路（木道）は、湯川下流部の赤沼周辺において、完全にひっくり返ってしまうほどの被害がありました。そのため全面通行止め措置を行い、一週間後（9月14日）に北戦場ヶ原を中心に一部通行止め解除。12日後（9月18日）にはひっくり返っていた木道の仮復旧工事が終了し、赤沼から逆川（光徳入口）までの自然研究路全線にわたり通行が可能になりました。約10日間にわたり、利用者の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

木道は復旧し、水位等も元のように落ち着きつつあります。しかし台風の影響で地盤がゆるんでいたりと、枝が折れやすくなっていたりする可能性があります。そのため、十分に注意しながら利用し、奥日光の自然を楽しんでいただければと思います。

■日光パークボランティアより

【日光パークボランティア主催イベントのお知らせ】

◆晩秋の中禅寺湖北岸ハイク◆

船の駅～菖蒲ヶ浜までは、船上から中禅寺湖南岸・北岸の紅葉をお楽しみください。そして帰路は菖蒲ヶ浜から船の駅までの湖畔のハイキングを、日光パークボランティアがご案内します。

実施日：平成19年10月28日（日）

集 合：中禅寺湖機船・船の駅 9:00（9:30発の船に乗ります）

コース：船の駅（乗船）～菖蒲ヶ浜（下船）・・・ボートハウス（休憩）・・・丸山・・・大崎

・・・西六番園地・・・船の駅 14:20 解散予定

人 数：30名（小学生以上／先着順）

参加費：820円（保険代・船代）

服装・持ち物：弁当、飲み物、雨具、敷物、ゴミ袋、リュック、あれば双眼鏡やカメラ、履きなれた靴、帽子、防寒着 など

申込み方法：①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤当日の交通手段 ⑥電話・FAX番号

以上のことを明記し、下記までFAXにてお申込みください。

申込み：日光湯元ビジターセンター FAX 0288-62-2378

締切り：平成19年10月23日（火）

その他：・少雨決行。雨天の場合は、当日の朝6:30に催行を決定します。

当日朝の問合せ先：ボランティアハウス TEL 0288-62-2776（6:30～8:00）

・当日は、混雑が予想されますので、余裕を持ってお出かけください。

■日光の催し(10~12月)

日付	催し物	時間	場所	お問合せ先
10/6(土)	日光けっこう フェスティバル	昼 10:00~ 秋の花火 19:00~20:00	日光市運動公園	日光市観光商工課 【0288-53-3795】
10/16(火)17(水)	日光東照宮 秋季大祭	流鏝馬 10/16 13:00~ 千人行列 10/17 11:00~、13:00~	日光山内表参道	日光東照宮 【0288-54-0560】
10/25(木)	男体山閉山祭	10:00~	二荒山神社 中宮祠	二荒山神社中宮祠 【0288-55-0017】
11/2(金)3(土)	二社一寺 ライトアップ	18:00~21:00	二社一寺内	商工会日光事務所 【0288-50-1171】
11/25(日)	子供強飯式	10:00~	七里・生岡神社	日光観光協会 【0288-54-2496】
12/31(月)	除夜祭	日光二荒山神社 17:00頃~	日光二荒山神社	日光二荒山神社 【0288-54-0535】
12/31(月)	歳末会	採灯大護摩供 23:45~	日光山輪王寺	日光山輪王寺 【0288-54-0531】

■お知らせ

★ビジターセンターの開館日と開館時間のお知らせ

11月まで、日光湯元ビジターセンターは毎日開館しています。12・1月は、土日祝日、年末年始のみの開館となります。詳細はP.6~7のカレンダーをご覧ください。

★無料休憩所も冬期閉鎖です。

ビジターセンター横の無料休憩所は、冬の間、スノーシューなどの貸出所となるため、閉鎖です。来年のオープンには雪の状況を見ながらとなります。

★足湯、冬休みに入ります。

湯元内にある足湯「あんよの湯」は、12月からお休みになります。来年のオープンには4月頃、気候と相談しながらとなります。



■ビジターセンターへの寄付

ありがとうございます!

横川信由さま：お菓子、イベント写真

横澤幸一さま：お菓子、コーヒー

打越雅男さま：イベント写真

山形 護さま：イベント写真、切手

江田 亮さま：お菓子

荒武宏司さま：お菓子

須藤サナエさま：お菓子

白川博子さま：イベント写真

小玉久子さま：梨 たくさん

森田匡子さま：切手

次号は

11月下旬

発行予定です

■編集後記

花の季節が終わり、植物たちはタネを付けてきています。飛ぶもの、くっつくもの、はじけるもの…、動くことができない植物たちの工夫に、ひたすら魅了される毎日です。(矢口)

集え！

た か や ま 高山登山隊



紅葉時期の混雑から一段落。

こんな時こそ、狙い目です。

高山登山を通して、奥日光の魅力を再発見してみませんか？

日時：平成19年11月23日（金・祝）

8：30～15：00

集合場所：竜頭滝下駐車場

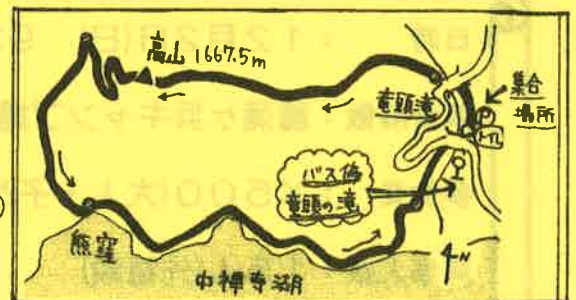
参加費：大人¥1000、小・中学生¥500

定員：15名（先着順）

対象：小学校4年生以上

健脚の方！

（高低差は約400m、距離は約8kmあります）



スケジュール

8：30●竜頭滝下駐車場 集合（日光駅6：58発、竜頭の滝7：59着のバスがあります）

受付終了後、出発！！

予定コース

（竜頭滝下～高山入口～高山～熊窪～赤岩～竜頭滝下）

15：00●解散（竜頭の滝15：35発、日光駅16：36着のバスがあります）

☆荒天中止です。荒天が見込まれる場合には、前日に中止の連絡を差し上げます。

☆当日の状況により、スケジュールやコースを変更する場合がございますので、ご了承ください。

☆予約のキャンセルをされる場合には、お早めにご連絡ください。

☆お申込み頂いた方には、後日、詳しい要項をお送りいたします。

お問合せ・お申込みは…

（財）自然公園財団日光支部（担当：友田）

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内

TEL：0288-62-2321 FAX：0288-62-2378

お申込みは、電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせください。

受付開始は平成19年10月3日（水）からです。

①イベントのタイトル②お名前③年齢④性別

⑤ご住所（郵便番号から）⑥電話番号（あればFAX番号も）⑦前日の連絡先

⑧集合場所までの交通手段⑨この催しをお知りになった手段



季節を感じる冬鳥観察

～ 願わくば、ワシが見たいです。～

奥日光の冬は非常に寒い・・・。しか～し!!そんな奥日光をアツクする

冬の使者がやってくる季節でもあるのです!!

小さな鳥が群れで見られたり、すごく大きな鳥が飛んでいるのも見られたりしちゃうかも!?



鳥たちにアツイ期待をしてみませんか?

日時 : 12月2日(日) 9:00～12:00

集合解散 : 菖蒲ヶ浜キャンプ場(エサとなるズミの実のつき方で、場所の変更あり)

参加費 : ￥500(大人・子ども一律)

募集人数 : 15人(先着順)

対象者 : バードウォッチング初心者(小学生以上)

持ち物 : 防寒着、持っていれば双眼鏡(貸し出し可)



※当日の状況により、スケジュールを変更する場合がございますのでご了承ください。

※雨天中止です。中止の場合は前日に連絡を差し上げます。

※最低催行人数は5人です。5人集まらない際は、中止となります。

※お申込み頂いた方には、後日詳しい要項をお送りいたします。

お問合せ・お申込みは・・・

(財)自然公園財団日光支部 (担当: 島田)

〒321-1662 栃木県日光市湯元 日光湯元ビジターセンター内

TEL: 0288-62-2321 FAX: 0288-62-2378

お申込みは、電話・FAXにて次の事項を上記までお知らせください。

(平成19年10月3日(水)より受付開始です)

① イベントタイトル ② 氏名 ③ 年齢 ④ 性別

⑤ 住所(郵便番号から) ⑥ 電話番号(あればFAX番号も) ⑦ 前日の連絡先

⑧ 集合場所までの交通手段 ⑨ この催しを何でお知りになったか

